

# MUGEN 「道系ラーメン」とは何ぞや?

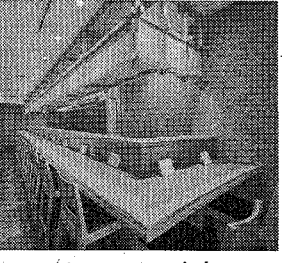
## 炭火焼き魚を丸ごとスープに

海鮮居酒屋「なめものてっぺん」や寿司業態「鮎おにかい」などを運営するMUGEN(東京・中目黒、内山正宏社長)が、5月15日、東京・神田にラーメン店「炭火焼濃厚中華そば海軍道(シーフード)」をオープンした。なぜこの時期に、同社としては初のラーメン業態となる同店を、しかもラーメン激戦区ともいわれる神田に出店したのだろうか。

代表の内山正宏さん「煮かれたから」と語る。わってきた江波戸さんは出店理由を開口一番「十割そば店「嵯峨合」は、内山さんとは昔から友人の江波戸千洋さんや「立喰い焼肉 治郎丸」の友人だった。その江波戸さんが昨年12月、東京・

新橋に「炭火焼濃厚中華そば海軍道」を立ち上げたのだ。「海軍道」では、炭火で焼いたサバやイワシの鱗や内臓などをすべて丸ごと使ったスープのラーメンを提供する。実際、それを食べた時に、内山さんの脳裏にひらめくものがあった。

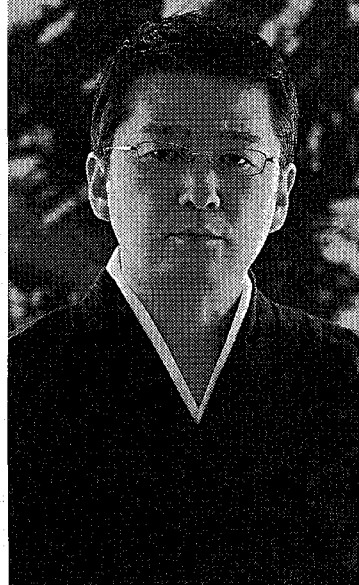
MUGENでは6年ほど前から、有楽町の「築地もったいないプロシエクト 魚治」や門前仲町の「〇魚(まるいこ)」などで、市場価値がなくなり廃棄されがちな未利用魚の活用を尽力してきた。とはいえ、内臓や鱗などは捨てている。しかし「海軍道」のラーメンは、文字通り丸ごと使える。



丸ごと魚を焼く炭火焼濃厚中華そばは、深い旨みと魚の旨みとが合わさって、炭火の香りがアクセント。肌が成長したコリが、F.L.C.の比率はF34%・L30%の計64%。今後、買い手がつかない魚が成長したコリが、F.L.C.の比率はF34%・L30%の計64%。

### ●外食新時代を生き抜く●

# ザ・人間力



●高取宗茂(たかとり・むねしげ)● 1971(昭和46)年、佐賀県唐津市生まれ。成宜塾塾長/株式会社和僑ホールディングス会長/日本橋不二楼総大将/福岡で18歳から屋台を引き始める。飲食店展開、大型商業施設のM&Aなどさまざまな業界を経て、現在は「日本橋不二楼」の総代として日々お客さんをもてなしている。靖國神社内の外苑休憩所「靖國八千代食堂」の運営、並びにさまざまな企業群を傘下に収める実業家として、国内全域、海外において幅広い展開を行ない、2020(令和2)年に独自の世界観を体現した私塾「成宜塾(かんぎじゅく)」を創立、多岐にわたる業界で活躍するトップリーダーの人材育成に取り組んでいる。

10坪・14席をピーク時は3~4人、通常は2人でのスープを味わってほしいため、チャーゲット層はラーメン好きやSDGsに興味がある人。想定客単価は900円。

日本の禅宗の代表的な宗派は、道元の曹洞宗の他に栄西の臨済宗がある。栄西は道元より半世紀ほど前の1168年に中国に渡り、臨済宗の師のもとで学んだ。栄西は、道元の「只管打坐(ただひたすらに座禅を組むこと)」とは異なり、公案(禅問答)を用いて考えながら座る「看話禅(かんわぜん)」を基本とした。

### 連載【24】身心脱落 ⑤

「看話禅」は別名「公案禅」とも呼ぶ。「公案」とは、悟りを得るための修行として、師から与えられる問題と向き合いながら行う。私の祖母も私も、この難解で哲学的な「公案禅」の世界で、答えた瞬間から問答無用で跳ね飛ばされる仕度な「壁打ち(しんぎょ)の世界」によって、未見の我、身心脱落の境地に達した。

真に一つに成り切れるか否かだけ。人間が培ってきた論理的思考が一切通用しない世界。経験した者は、皆「自分自身に深く集中する」プロセスが未見の我、身心脱落の壁となって立ち上がる。一方、禅宗は、仏の道によってそれを明かにする。人知を越えた世界を、仏の姿を信じた「探求するべき人間のし(ひとびと)を呼ぶ。人間は

「吉番亭」は、ラーメン店「吉番亭」の育成を進め、昨年10月に関西エリアに展開する「吉番亭」は、府界市南区梅4-8-8番。北関東周辺に21店舗を展開。関西エリアでは30店舗を展開していき方針を定めていく。大阪・北加

大阪府堺市に2店目の「東北ニュータウン」をオープン。また、同様に、ロードサイドへの展開も進め、主要なニュータウンに展開する。また、ロードサイドへの展開も進め、主要なニュータウンに展開する。